

京 都 府 J A 女 性 部 3 か 年 活 動 計 画

2 0 2 2 年 2 月 2 4 日

J A 京 都 府 女 性 組 織 協 議 会

I. 基本方針

J A 京 都 府 女 性 協 会 是 ち、2019 年 度 からの 3 か 年 活 動 計 画 の 実 践 を す す め、府 内 J A の 各 支 店 ・ 支 部 に お いて、食 と 農、暮 ら し や 地 域 に か か わ る 協 同 活 動 等 の 取 り 組 み に よ り、J A 女 性 部 活 動 の 充 実 に よ る 組 織 の 活 性 化 と、地 域 の 活 性 化 に 取 り 組 ん で き ま し た。

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 は、私 た ち の 暮 ら し や 食 と 農 を 取 り 巻 く 環 境、J A 女 性 部 活 動 に お いて は、集 ま れ な い こ と に よ る 活 動 自 粛 な ど の 影 響 を 与 え ま し た。ま た、そ の 他 に も 私 た ち の 周 り に は、食 料 自 給 率 の 低 迷 や 食 品 ロ ス、多 発 す る 自 然 災 害 な ど 様 々 な 問 題 が 発 生 し て い ま す。こ れ ら の 問 題 に 対 し、今、改 め て 部 員 同 士 が つ な が り を 持 ち、地 域 の 仲 間 と つ な が り、「食」「農 業」に つ い て 理 解 者 を 増 や し 守 る た め の 取 り 組 み が 重 要 で す。

私 た ち J A 女 性 部 は J A の 組 合 員 組 織 と し て、第 29 回 J A 京 都 府 大 会 の 決 議 内 容 お よ び、J A 全 国 女 性 協 会 3 か 年 計 画 を 基 本 に、食 と 農 を 基 軸 と し た 活 動 に 取 り 組 み、J A と と も に 京 都 の 農 業 振 興 と 地 域 の 活 性 化 を 実 現 し、J A 女 性 組 織 の 基 盤 強 化 に 向 け、次 の 重 点 活 動 に 取 り 組 み ま す。

【重点活動】

1. 食を守り農を支える活動の実践

「食と農に関する活動の強化と地域の活性化」

2. 仲間とともに協同活動の実践「女性部活動の充実による組織の活性化」

3. J A の 組 合 員 と し て の 活 動 の 実 践 「 J A 運 営 へ の 参 加 ・ 参 画 」

II. 活動テーマ

「持続可能な農業・地域共生の未来づくり

～ J A 女 性 想 い を 一 つ に かな え よ う ～ 」

III. 取り組み期間

2022 年 4 月 から 2025 年 3 月 まで

IV. 重点活動

1. 食と農に関する活動の強化と地域の活性化

(1) 食と農を基軸とした活動の実践

あらゆる世代に対する食農教育活動の実践により、地産地消運動の展開、安全・安心な府内産農畜産物の消費拡大をすすめ、食や農の大切さを伝える活動に取り組みます。

また、「食」と「農」に関する理解醸成のため、消費者と生産者の関係づくりをすすめるとともに、学習活動と情報発信に取り組みます。

(2) 地域を軸とした活動の実践

協同や助け合いの精神に基づき、地域における環境・文化への貢献や、災害時等の防災対策、ボランティア活動等の地域貢献活動等に積極的に取り組みます。

(3) J A京都府青壮年・他団体等との連携による活動の展開

J A京都府青壮年や各生産部会組織はじめ、他の協同組合等の地域の多様な組織と連携して協同の輪を広げ、京都農業の振興および地域の活性化をすすめます。

2. 女性部活動の充実による組織の活性化

(1) 支店・支部における女性部活動の充実

支店・支部を核とした活動を支店長・事務局との連携を強化して取り組み、女性部活動の充実をはかります。

(2) 女性部員加入運動の展開

より多くの仲間とともに、地域に根付いた女性部活動を拡充強化するために、フレッシュミズ世代の女性をはじめ、女性部未加入の組合員女性や地域住民への女性部加入促進を引き続き展開します。

(3) フレッシュミズ世代の活動支援

若い世代の女性のJ A女性部活動の参加促進に向け、府域での情報交換会および各種研修会や学習会を開催して、フレッシュミズ世代の活動の充実をすすめます。

- (4) 世代別・目的別活動と世代間交流活動の充実
世代別・目的別活動の充実に向け、部員同士のつながりを大切にし、Web等も活用しながら、世代・地域を超えた交流活動等の実施により、活動の拡充をはかります。
- (5) 組織活動の充実に向けた研修会・学習会の開催
府内・府外のJA女性組織の活動事例やJA教育文化活動、Web活用等に関する研修会・学習会を開催し、組織活動の充実をはかります。

3. JA運営への参加・参画

- (1) JA役職員との対話による連携強化
組織基盤の拡充と活性化をはかるため、JA役職員との本支店における懇談会の開催を定期的実施し、JA女性部活動やJA運営に対する意見・要望を伝え、連携強化に取り組みます。
- (2) JA運営への参画
JAを自らの組織として意識するため、部員の組合員加入と役員・総代の選出をJAと連携してすすめ、女性のJA運営の参画に積極的に取り組みます。
- (3) 支店運営への参画
支店における協同活動を充実するため、地元理事や総代・組合員等で構成する支店活動活性化委員会への参加と参画をすすめ、JAと一体となって協同活動に取り組みます。
- (4) JA・協同組合に関する学習活動の展開
JA女性部組織の一員として、自らの意識改革と協同の理念のもと活動を実践するため、JA女性組織綱領および5原則の理解深耕や、『家の光』『日本農業新聞』等を活用したJA・協同組合に関する学習活動の強化に取り組みます。